

別冊

# パソコンバンクサービス(国内版) 【バージョンアップ用】簡易マニュアル

<同一パソコン内でのバージョンアップ用>

LEAD THE VALUE

# 目次

## STEP 0 事前確認 P.2

- 1 パソコン  
(OS/.NET Framework)
- 2 周辺機器  
(モデム/プリンタ)
- 3 電話回線

## STEP 1 事前作業 P.4

- 1 データのバックアップ

## STEP 2 インストール P.5

- 1 Access Database Engineのインストール
- 2 .NET Frameworkのインストール
- 3 パソコンバンクサービス(国内版)のインストール

## STEP 3 確認 P.8

- 1 データの確認
- 2 通信確認
- 3 印刷確認
- 4 当行あてテスト送信

本書は、同一パソコンでのバージョンアップの際に必要な対応について記載したマニュアルです。  
パソコンバンクサービス(国内版)の通常操作について一定の理解があることを前提としております。

## Step 0. 事前確認

### 1 パソコン

#### ■ OSについて

パソコンバンクサービス(国内版)をインストール可能なパソコンはマイクロソフト社が提供しているWindowsOSに対応したパソコンです。

なお、マイクロソフト社がサポート終了したOSにつきましては、インストールに関するサポートは行うことができませんのでご注意ください。

パソコンバンクサービス(国内版)にインストール可能なWindowsOSの最新情報につきましては、当行ホームページよりご確認ください。

#### 【当行ホームページ操作手順及びURL】

ホーム ▶ 法人のお客さま ▶ 振入金確認の効率化(EBサービス) ▶  
パソコンバンクサービス ▶ パソコンバンクサービス(国内版) ▶ ご利用環境

URL <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/firm/kankyo.html>

※その他ご留意事項につきましても上記ホームページからご確認ください。

#### ■ .NET Framework (ドットネットフレームワーク)について

パソコンバンクサービス(国内版)のご利用には、「.NET Framework3.5」の導入が必要です。なお、「.NET Framework3.5」が導入されていない場合、パソコンバンクサービス(国内版)のセットアップの中でインストールすることができます。

なお、「.NET Framework3.5」のインストール中に発生したエラーにつきましては、当行で対応できませんので、マイクロソフト社のホームページ等でご確認ください。

## 2 周辺機器

### ■ モデム

ご利用のWindowsOSに対応したモデム(全二重非同期式)をご用意ください。  
 なお、モデムを利用するには、専用のドライバをインストールする必要があります。  
 インストール方法につきましては、附属の説明書もしくはメーカーのホームページで  
 ご確認ください。

#### 【稼働確認済の全二重非同期式モデム】

メーカー名	機種名
I/Oデータ製	DFM-56U USB-PM560ER
ラトックシステム	REX-USB56

※上記以外のモデムでもご利用いただけます。

### ■ プリンタ

A4単票出力が可能なプリンタでご利用ください。  
 ※ドットインパクト(連続帳票式)プリンタはご利用いただけませんのでご注意ください。

## 3 電話回線

一般公衆回線をご利用ください。  
 なお、ビジネスホンでご利用の電話回線、光回線ではご利用いただけませんのでご注意  
 ください。

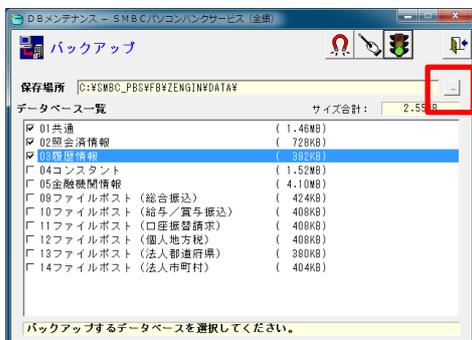
## Step 1. 事前作業

### 1 データのバックアップ

- 不測の事態に備え、現在ご利用中の全銀、ANSERそれぞれのデータのバックアップを取得してください。

#### 全銀

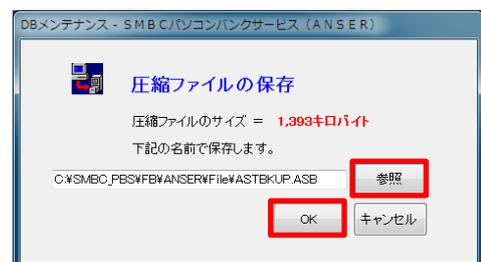
- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービス(国内版)」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンス(全銀)」をクリックしてください。
- 2 DBメンテナンス画面から「バックアップ」を選択してください。  
※バックアップ前に最適化をしていただくとバックアップデータのサイズを縮小することができます。
- 3 【フォルダ選択】ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。



- 4 【全選択】ボタンをクリックしてください。
- 5 【開始】ボタンをクリックしてください。
- 6 バックアップ取得の確認メッセージを聞いてきますので「はい」で進んでいただければ、データのバックアップが完了します。

#### ANSER

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービス(国内版)」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンス(ANSER)」をクリックしてください。
- 2 DBメンテナンス画面から「バックアップ」を選択してください。  
※バックアップ前に最適化をしていただくとバックアップデータのサイズを縮小することができます。
- 3 確認メッセージが表示されますので、【OK】ボタンをクリックし、次に表示されるメッセージ画面も【OK】ボタンをクリックしてください。
- 4 保存場所の確認画面が表示されます。【参照】ボタンより保存場所を指定し、【OK】ボタンをクリックすれば、データのバックアップが完了します。



バックアップ完了

## Step 2. インストール

### 1 Access Database Engineのインストール

パソコンのCD-ROMドライブにパソコンバンクサービス(国内版)のCD-ROMをセットしてください。自動的にインストール時のご注意画面が表示されます。

※ インストールにはWindowsの管理者権限(アドミニストレータ)が必要です。

※ 自動で表示されない場合は、エクスプローラーからCD-ROMドライブの中にあるSetupMenu.exeを実行してください。

#### 1 【OK】ボタンをクリックしてください。



#### 2 インストールメニュー画面が表示されますので、「①ソフトのインストール」をクリックしてください。

#### 3 更新作業を続行するかどうかの確認画面が表示されますので「はい」ボタンをクリックしてください。



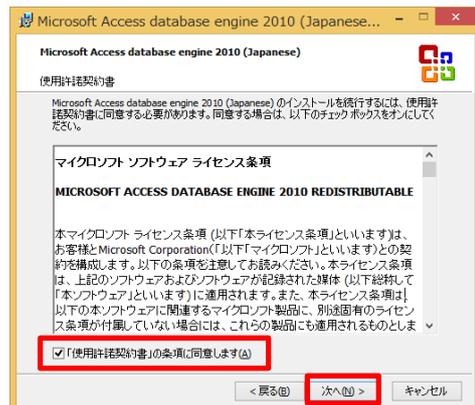
#### 4 インストールを開始する旨の確認画面が表示されますので【OK】ボタンをクリックしてください

#### 5 「Access Database Engine」の導入が自動的に開始されます。

※すでに導入済の場合はキャンセルしてください。

#### 6 セットアップの開始画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。

#### 7 【「使用許諾契約書」の条項に同意します】にチェックし、【次へ】ボタンをクリックしてください。



#### 8 インストール先の確認画面が表示されます。そのまま【インストール】ボタンをクリックしてください。

#### 9 インストールが開始されますので、100%になるまでお待ちください。

#### 10 正常完了のメッセージが表示されれば完了です。【OK】ボタンをクリックしてください。

インストール完了

## 2 .NET Frameworkのインストール

.NET Framework3.5が導入されていない場合、Access Database Engineのインストール完了後にインストールの確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックし、インストールが完了するまでお待ちください。確認画面が表示されない場合は、そのまま次へお進みください。

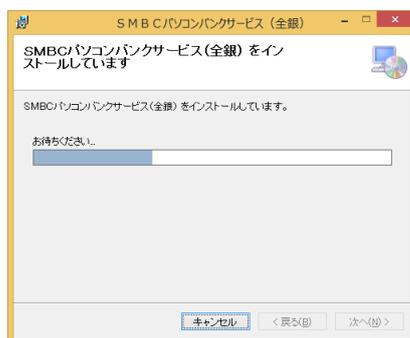
※ パソコンによって、インストールにかかる時間は異なります。



インストール完了

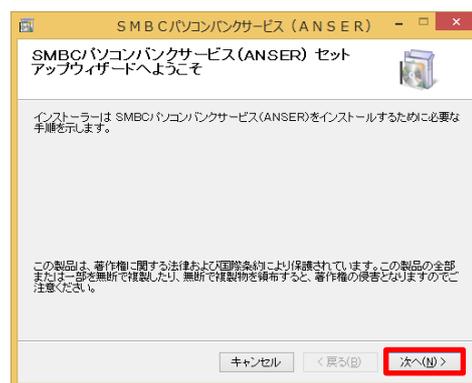
## 3 パソコンバンクサービス(国内版)のインストール

- 1 インストール準備中の画面が表示され、そのままインストールの導入画面が表示されます。100%になるまでお待ちください。



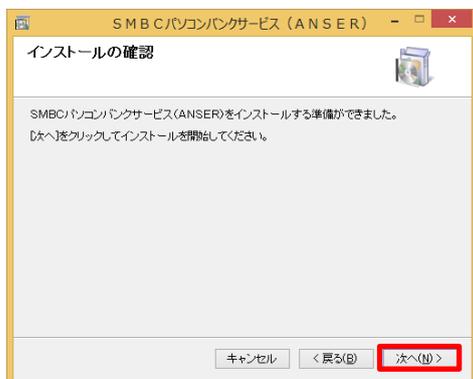
- 2 インストール完了の画面が表示されましたら【閉じる】ボタンをクリックしてください。

- 3 引き続きANSERのセットアップ画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。

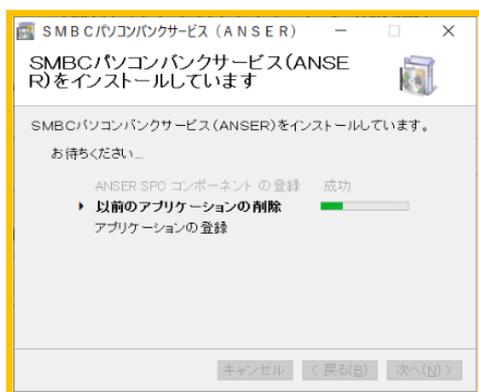


## Step 2. インストール

- 4 インストールの確認画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。



- 5 進捗状況の確認画面が表示されます。100%になるまでお待ちください。



- 6 インストール完了の画面が表示されましたら【閉じる】ボタンをクリックしてください。

- 7 しばらくお待ちいただくとインストール完了のメッセージが表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。

インストール完了

すべてのインストールが完了しましたら、インストールメニュー画面を終了し、CD-ROMを取り出した後、パソコンを再起動してください。

## Step 3. 確認

### 1 データの確認

最新バージョンのインストールが完了しましたので、日常ご利用されているサービスのデータが存在していることをご確認ください。

なお、金融機関コード検索サービスにつきましても2019年よりご利用方法について変更がありますのでご確認ください。

#### 金融機関コード検索サービスについて

金融機関コード検索サービスにつきましては、2019年の6月末をもってサービスを終了しました。

2019年7月以降は、当行ホームページより最新の金融機関コードのデータベースファイルを取得できますので、そちらをご利用ください。

#### 【当行ホームページ操作手順及びURL】

ホーム ▶ 法人のお客さま ▶ 振込入金確認の効率化(EBサービス) ▶ パソコンバンクサービス ▶ パソコンバンクサービス(国内版) ▶ サービスメニュー

URL <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/firm/service/>

#### 【当行ホームページ画面】

パソコンバンクサービス (国内版)	サービスメニュー														
サービスメニュー	サービスメニュー														
ご利用料金															
ご利用環境															
オプションサービス															
お問い合わせ															
	<h4>基本サービス</h4> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取引振込サービス</th> <th>預金残高、振込入金明細、ご利用明細、預入明細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振込・振替サービス</td> <td>当日の振込・振替、振込・振替の予約(登録日以後5営業日後までの予約)(注1)、(注2)、(注3)</td> </tr> <tr> <td>データ伝送サービス</td> <td>総合振込、給与(買付)振込、口座振替請求、個人地方税納付、法人地方税納付</td> </tr> <tr> <td>資金移動受付サービス</td> <td>総合振込、給与(買付)振込、個人地方税納付においてデータ伝送後の振込件数・振込金額の当行宛確認を、パソコンから直接行えます  <a href="#">データ伝送の合計報告の画面例</a></td> </tr> <tr> <td>口座振替処理結果明細のご振会</td> <td>お振替日の翌営業日13時からご振会いただけます</td> </tr> <tr> <td>データ伝送内容のご振会</td> <td>ご送信された内容をご送信日当日にご振会いただけます</td> </tr> <tr> <td>金融機関コード検索サービス(注4)</td> <td> <p>お振込の際に必要な受取人の銀行コードや支店コードの検索が可能です。最新の金融機関コードのマスタファイルをダウンロードの上、ご利用ください。更新方法の操作マニュアルは <a href="#">こちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金融機関コードのマスタファイル(2019年7月末時点)           <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン15.10以上をご利用のお客さま <a href="#">ダウンロードの実行(xpファイル)</a></li> <li>バージョン14.00~15.01をご利用のお客さま <a href="#">ダウンロードの実行(xpファイル)</a></li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	取引振込サービス	預金残高、振込入金明細、ご利用明細、預入明細	振込・振替サービス	当日の振込・振替、振込・振替の予約(登録日以後5営業日後までの予約)(注1)、(注2)、(注3)	データ伝送サービス	総合振込、給与(買付)振込、口座振替請求、個人地方税納付、法人地方税納付	資金移動受付サービス	総合振込、給与(買付)振込、個人地方税納付においてデータ伝送後の振込件数・振込金額の当行宛確認を、パソコンから直接行えます <a href="#">データ伝送の合計報告の画面例</a>	口座振替処理結果明細のご振会	お振替日の翌営業日13時からご振会いただけます	データ伝送内容のご振会	ご送信された内容をご送信日当日にご振会いただけます	金融機関コード検索サービス(注4)	<p>お振込の際に必要な受取人の銀行コードや支店コードの検索が可能です。最新の金融機関コードのマスタファイルをダウンロードの上、ご利用ください。更新方法の操作マニュアルは <a href="#">こちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金融機関コードのマスタファイル(2019年7月末時点)           <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン15.10以上をご利用のお客さま <a href="#">ダウンロードの実行(xpファイル)</a></li> <li>バージョン14.00~15.01をご利用のお客さま <a href="#">ダウンロードの実行(xpファイル)</a></li> </ul> </li> </ul>
取引振込サービス	預金残高、振込入金明細、ご利用明細、預入明細														
振込・振替サービス	当日の振込・振替、振込・振替の予約(登録日以後5営業日後までの予約)(注1)、(注2)、(注3)														
データ伝送サービス	総合振込、給与(買付)振込、口座振替請求、個人地方税納付、法人地方税納付														
資金移動受付サービス	総合振込、給与(買付)振込、個人地方税納付においてデータ伝送後の振込件数・振込金額の当行宛確認を、パソコンから直接行えます <a href="#">データ伝送の合計報告の画面例</a>														
口座振替処理結果明細のご振会	お振替日の翌営業日13時からご振会いただけます														
データ伝送内容のご振会	ご送信された内容をご送信日当日にご振会いただけます														
金融機関コード検索サービス(注4)	<p>お振込の際に必要な受取人の銀行コードや支店コードの検索が可能です。最新の金融機関コードのマスタファイルをダウンロードの上、ご利用ください。更新方法の操作マニュアルは <a href="#">こちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金融機関コードのマスタファイル(2019年7月末時点)           <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン15.10以上をご利用のお客さま <a href="#">ダウンロードの実行(xpファイル)</a></li> <li>バージョン14.00~15.01をご利用のお客さま <a href="#">ダウンロードの実行(xpファイル)</a></li> </ul> </li> </ul>														

## 2 通信確認

取引口座照会、データ伝送(総合振込、給与振込等)いずれかのご利用サービスを用いて通信確認を行ってください。総合振込、給与振込等のデータを使ってテスト送信を行う場合は、(4)テスト送信をご覧ください。

## 3 印刷確認

パソコンバンクサービス(国内版)を起動し、普段ご利用されているサービス画面から帳票が正しく出力されるかご確認ください。

## 4 当行あてテスト送信

当行あてのテスト送信を行うには、テスト環境への変更操作が必要です。また、テスト送信を行う際は、以下条件で行ってください。

### 条件

- ✓ テスト送信の振込明細の件数は2件以上ご準備ください。
- ✓ 振込金額は各明細につき1円以上で設定してください。
- ✓ 振込指定日はテスト送信実施日の20営業日前～送信実施日前営業日の過去日付を指定してください(過去日付に休日を指定した場合エラーとなります)。
- ✓ テスト送信は銀行営業日9:00～19:00の時間帯で行ってください。

## Step 3.確認

## テスト環境への変更

- 1 メインメニューから口座情報・運用環境登録をクリックし、全銀システム通信情報登録をクリックしてください。
- 2 センター一覧画面が表示されますので「三井住友銀行センター／テスト用」を選択し【変更】ボタンをクリックしてください。
- 3 銀行センター確認コードが「00090000000000」であることをご確認ください。
- 6 口座情報・運用環境登録のサブメニューに戻り、全銀システム口座情報登録をクリックしてください。
- 7 口座情報一覧画面から、今回テスト送信でご利用の出金口座を選択し、【変更】ボタンをクリックしてください。
- 8 現在の設定されている銀行センター確認コードを控えたのち、テスト用の銀行センター確認コード「00090000000000」に変更し、【保存】ボタンをクリックしてください。

- 4 テスト送信でご利用の出金口座が東日本の取引店の場合は【↑設定(東京)】ボタンを、西日本の取引店の場合は【↑設定(大阪)】ボタンをクリックしてください。
- 5 電話番号が東日本(西日本)地区、いずれかの番号に変わったことを確認いただいた後、保存ボタンをクリックしてください。

地区	電話番号
東日本(静岡より以东)	03-5444-4800
西日本(愛知より以西 〈福井、富山〉を含む)	06-6258-5200

## テスト送信

総合振込でテスト送信を行う場合の要領は以下の通りです  
(他のサービスで行う場合も同じ要領で行ってください)

- 1 出金口座情報の画面から【新規登録】ボタンをクリックし、【口座一覧】ボタンより、先ほど変更した出金口座を選択し、総合振込用の会社コードを選択してください。

- 2 振込日を20営業日前～送信実施日前営業日の過去日付を指定し、【保存】ボタンをクリックしてください。
- 3 振込明細の画面から2件以上データを作成し、それぞれ1円以上の金額を指定してください。
- 4 確認画面より【確認】ボタンをクリックし、送信画面に進んでください。

- 5 銀行センター確認コードがテスト用のコードが選択されているのを確認し、通信暗証、送信暗証を入力して通信してください。

- 6 テスト送信が完了しましたら、出金口座情報より、テストデータ削除してください。
- 7 メインメニューから口座情報運用環境登録をクリックし、口座情報登録画面からテスト送信で利用した口座を選択し、銀行センター確認コードを元のコードに戻してください。

テスト完了



お問い合わせ（くわしくは、三井住友銀行のEBサービスセンターへ、お気軽にご相談ください）

三井住友銀行の  
EBサービスセンター



**0120-286-201**

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00  
（銀行休業日を除きます）

お電話が込み合っている場合、本件に関する電話サポートについて翌営業日とさせていただきます。

（2020年4月現在）



SUMITOMO MITSUI  
BANKING CORPORATION

Copyright © 2020 Sumitomo Mitsui Banking Corporation.  
All Rights Reserved.